

ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第11期(決算日2015年4月10日)

作成対象期間(2014年4月11日～2015年4月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年3月26日から2019年4月10日(当初、2014年4月10日)までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

< Aコース >

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
7期(2011年4月11日)	円 14,237	円 450	% 13.1	121.51	% 7.7	% 100.9	% —	百万円 3,451
8期(2012年4月10日)	14,141	450	2.5	119.71	△ 1.5	96.5	—	2,699
9期(2013年4月10日)	15,641	500	14.1	140.23	17.1	101.1	—	1,892
10期(2014年4月10日)	17,639	600	16.6	165.99	18.4	96.9	—	1,819
11期(2015年4月10日)	18,419	600	7.8	193.37	16.5	97.6	—	1,597

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。
 *MSCI ワールド インデックス フリーは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2014年4月10日	円 17,639	% —	165.99	% —	% 96.9	% —
4月末	17,505	△0.8	167.06	0.6	94.2	—
5月末	17,918	1.6	171.17	3.1	95.0	—
6月末	18,353	4.0	173.73	4.7	95.8	—
7月末	17,875	1.3	174.76	5.3	98.5	—
8月末	18,111	2.7	176.32	6.2	99.3	—
9月末	17,609	△0.2	175.14	5.5	99.4	—
10月末	17,939	1.7	174.94	5.4	97.3	—
11月末	18,520	5.0	182.63	10.0	99.3	—
12月末	18,504	4.9	182.85	10.2	97.4	—
2015年1月末	18,161	3.0	181.39	9.3	94.6	—
2月末	18,533	5.1	190.68	14.9	95.2	—
3月末	18,754	6.3	191.14	15.2	97.4	—
(期末) 2015年4月10日	19,019	7.8	193.37	16.5	97.6	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
7期(2011年4月11日)	13,114	300	6.1	124.76	3.0	97.5	—	14,950
8期(2012年4月10日)	12,532	250	△ 2.5	117.23	△ 6.0	96.3	—	10,003
9期(2013年4月10日)	16,427	520	35.2	163.92	39.8	97.9	—	10,511
10期(2014年4月10日)	19,159	750	21.2	202.14	23.3	97.5	—	10,793
11期(2015年4月10日)	21,971	800	18.9	258.35	27.8	97.4	—	10,114

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。

*MSCI ワールド インデックス フリーは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2014年4月10日	19,159	—	202.14	—	97.5	—
4月末	19,085	△ 0.4	204.16	1.0	93.8	—
5月末	19,325	0.9	206.91	2.4	96.2	—
6月末	19,789	3.3	210.17	4.0	96.0	—
7月末	19,456	1.6	213.27	5.5	97.8	—
8月末	19,778	3.2	216.09	6.9	98.3	—
9月末	20,013	4.5	222.77	10.2	98.2	—
10月末	20,322	6.1	221.90	9.8	97.3	—
11月末	22,403	16.9	247.67	22.5	97.9	—
12月末	22,666	18.3	250.61	24.0	97.7	—
2015年1月末	21,614	12.8	240.90	19.2	97.9	—
2月末	22,230	16.0	255.20	26.2	97.4	—
3月末	22,442	17.1	255.30	26.3	97.8	—
(期末)						
2015年4月10日	22,771	18.9	258.35	27.8	97.4	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

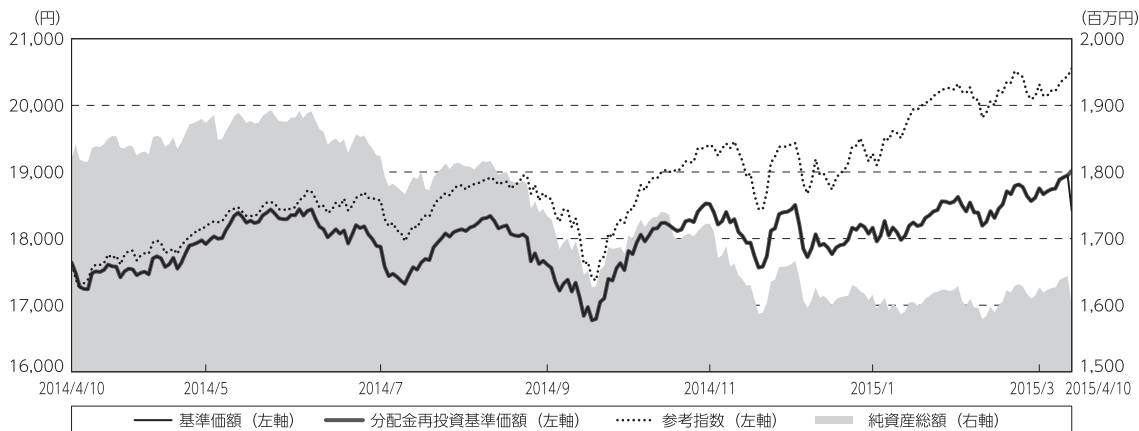
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

< Aコース >

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：17,639円

期末：18,419円 (既払分配金(税込み)：600円)

騰落率： 7.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2014年4月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース)です。作成期首(2014年4月10日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首17,639円から期末18,419円となりました。

- ・2014年5月から6月にかけて、ECB(欧州中央銀行)が利下げを実施したことや、米国の雇用統計が堅調な内容であったこと、FOMC(米連邦公開市場委員会)後のイエレンFRB(米連邦準備制度理事会)議長の声明が緩和的な金融政策の継続を示唆したことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。

< Aコース >

- ・ 9月は、中東情勢の緊迫化や中国景気の成長鈍化観測が強まったこと、ウクライナ情勢を巡りEU（欧州連合）がロシアに対し追加制裁を実施したことや、スコットランド独立を巡る住民投票の先行き不透明感などから、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 10月から11月にかけて、日銀の追加金融緩和策の実施、ECBによる追加金融緩和期待や米国の早期利上げ観測の後退に加え、中国が2012年7月以来の利下げを実施したことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 2015年2月から3月にかけて、原油価格の反発やギリシャ情勢の改善期待、欧米の早期利上げ懸念の後退などから、主要各国の株価が上昇したこと。

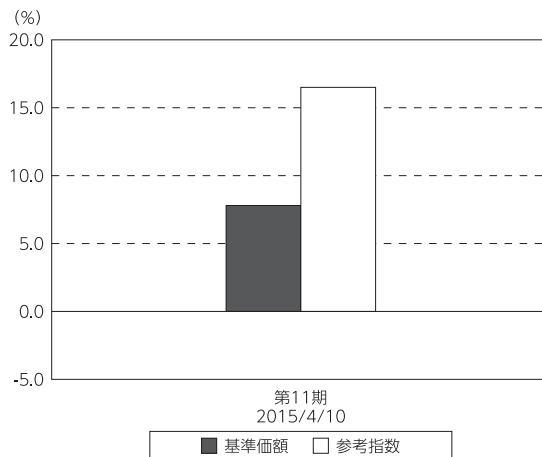
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）の16.5%の上昇に対し、基準価額は7.8%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えた投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）とは異なった動きをしています。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）です。

< Aコース >

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり600円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第11期
	2014年4月11日～ 2015年4月10日
当期分配金	600
(対基準価額比率)	3.155%
当期の収益	600
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,419

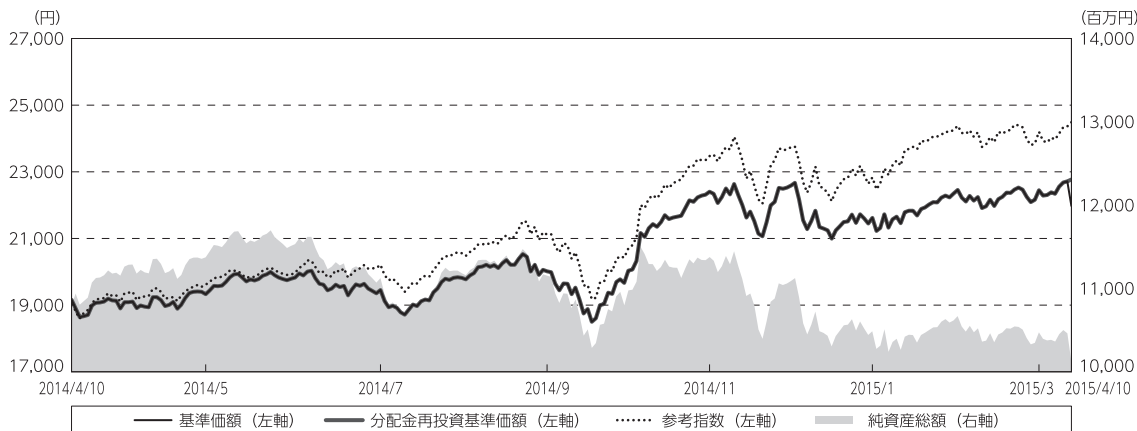
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：19,159円

期末：21,971円 (既払分配金 (税込み) : 800円)

騰落率： 18.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2014年4月10日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース) です。作成期首 (2014年4月10日) の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首19,159円から期末21,971円となりました。

- ・2014年5月から6月にかけて、ECB (欧州中央銀行) が利下げを実施したことや、米国の雇用統計が堅調な内容であったこと、FOMC (米連邦公開市場委員会) 後のイエレンFRB (米連邦準備制度理事会) 議長の声明が緩和的な金融政策の継続を示唆したことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。

<Bコース>

- ・ 9月は、中東情勢の緊迫化や中国景気の成長鈍化観測が強まったこと、ウクライナ情勢を巡りEU（欧州連合）がロシアに対し追加制裁を実施したことや、スコットランド独立を巡る住民投票の先行き不透明感などから、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 10月から11月にかけて、日銀の追加金融緩和策の実施、ECBによる追加金融緩和期待や米国の早期利上げ観測の後退に加え、中国が2012年7月以来の利下げを実施したことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 2015年2月から3月にかけて、原油価格の反発やギリシャ情勢の改善期待、欧米の早期利上げ懸念の後退などから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 為替については、2014年9月、米国債利回りの上昇や米国の早期利上げ観測の高まり、また、日銀総裁の発言をきっかけに市場で緩和期待が広がったことなどから、円がドルに対して売られたこと。10月末の日銀による金融緩和を受け、主要通貨に対して円が売られたこと。2015年1月、ECBによる金融緩和期待から対ユーロに対して円が買われたこと。

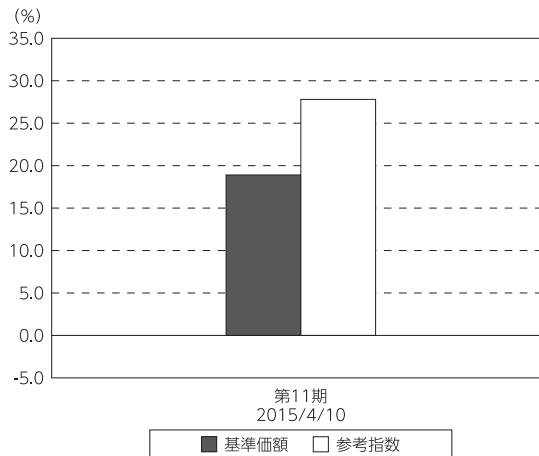
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の27.8%の上昇に対し、基準価額は18.9%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えた投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしております。

基準価額と参考指数の対比（別期騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり800円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第11期
	2014年4月11日～ 2015年4月10日
当期分配金	800
(対基準価額比率)	3.513%
当期の収益	800
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,971

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、中東情勢やウクライナ情勢の地政学的リスク及びECBをはじめとする中央銀行の金融政策に対する市場の期待に左右されましたが、期を通じて上昇となりました。

中東情勢やウクライナ情勢の緊迫化や、ギリシャ大統領選挙の前倒し決定により政情不安が高まったこと、原油価格の急落による産油国経済の混乱が強まったことなどが下落要因となりました。

米国の一部経済指標が予想以上に改善したことを受けて世界経済の見通しが改善したこと、FRBの金融緩和策が相当な期間維持されることが明らかになったことやECB・日銀による金融緩和が好感されたこと、原油価格の反発などが上昇要因となりました。

為替市場では、期を通じては、米ドル、英ポンド、香港ドルなどに対して円安となりましたが、ユーロに対しては円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース] および [ワールド・ウォーター・ファンド Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリング」と「上下水道ビジネス」を中心に投資してまいりました。

- ②業績が景気の影響をより受けやすい「装置製造・エンジニアリング」については、バリュエーション面で割安感があり、財務体質のしっかりした企業に投資を行いました。好業績などを背景に株価が上昇し割安感の減少した銘柄やユーロ安による業績への影響が懸念される銘柄、石油・ガス関連の銘柄などを一部売却する一方、堅調な業績が見込まれる銘柄を購入しました。
- ③世界的に景気回復期待が高まったものの、引き続きよりディフェンシブ（景気に左右されにくい）性の高い規制下の事業比率が高い「上下水道ビジネス」の組入比率を高位に保ちました。
- ④「環境マネジメント・サービス」については、バリュエーションの観点から割高な企業を売却する一方、中期的な業績動向が堅調な企業に注目し、投資を行いました。
- ⑤バリュエーション面で割安と判断した日本のアルミサッシ製造会社を新規に購入し、日本の株式の組入比率を高めました。また、効率性の改善で収益性向上が期待される米国の生命科学設備会社や今後業績の伸びが見込まれる米国の廃棄物管理会社などの株式の組入比率を高めました。

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

米国で年内にも利上げが開始されると見られることから金融引き締めの影響が懸念されるものの、こうした環境下でも水関連業界は都市化、民営化、サステナビリティ問題などの長期的な需要増加要因に支えられ、相対的に良好な業績動向が見込まれます。

特に各国の財政状況が厳しいなかでは水道事業などの民営化が進展し、上下水道サービス業界の企業の事業機会の拡大が見込まれます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行う水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース>

○1万口当たりの費用明細

(2014年4月11日～2015年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 333	% 1.836	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(176)	(0.974)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(137)	(0.755)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(20)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.044	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(8)	(0.044)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.014	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.014)	
(d) そ の 他 費 用	15	0.085	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(10)	(0.056)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(4)	(0.025)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	358	1.979	
期中の平均基準価額は、18,148円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

< Aコース >

○売買及び取引の状況

(2014年4月11日～2015年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 33,250	千円 105,600	千口 195,040	千円 651,200

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2014年4月11日～2015年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	7,727,058千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,437,584千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.62	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2014年4月11日～2015年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Aコース>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A		うち利害関係人との取引状況 D	D/C	
為替先物取引	百万円 250	% 2.9	百万円 8,128	百万円 196	% 2.4	百万円 8,520

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A		うち利害関係人との取引状況 D	D/C	
株式	百万円 -	% -	百万円 5,425	百万円 39	% 0.7	百万円 2,302
為替直物取引	-	-	4,024	222	5.5	724

平均保有割合 13.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

< Aコース >

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	762千円
うち利害関係人への支払額 (B)	8千円
(B) / (A)	1.1%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 595,131	千口 433,341	千円 1,577,579

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千円 1,577,579	% 94.5
コール・ローン等、その他	92,015	5.5
投資信託財産総額	1,669,594	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（11,351,951千円）の投資信託財産総額（12,214,513千円）に対する比率は92.9%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=120.51円、1カナダドル=95.69円、1英ポンド=177.37円、1スイスフラン=123.38円、1スウェーデンクローナ=13.77円、1ユーロ=128.60円、1香港ドル=15.55円、1シンガポールドル=88.73円、1ウォン=0.1104円、1メキシコペソ=7.99円、1レアル=39.41円、1チリペソ=0.1956円。

< Aコース >

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年4月10日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	3,095,732,365
コール・ローン等	16,070,086
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	1,577,579,909
未収入金	1,502,082,353
未収利息	17
(B) 負債	1,497,955,863
未払金	1,430,815,950
未払収益分配金	52,046,394
未払解約金	19,604
未払信託報酬	15,047,421
その他未払費用	26,494
(C) 純資産総額(A-B)	1,597,776,502
元本	867,439,908
次期繰越損益金	730,336,594
(D) 受益権総口数	867,439,908口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,419円

(注) 期首元本額1,031百万円、期中追加設定元本額31百万円、期中一部解約元本額196百万円、計算口数当たり純資産額18,419円。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額88,364,161円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2014年4月11日～2015年4月10日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	7,840
受取利息	7,840
(B) 有価証券売買損益	150,917,405
売買益	415,566,442
売買損	△264,649,037
(C) 信託報酬等	△31,926,453
(D) 当期損益金(A+B+C)	118,998,792
(E) 前期繰越損益金	270,074,214
(F) 追加信託差損益金	393,309,982
(配当等相当額)	(295,378,232)
(売買損益相当額)	(97,931,750)
(G) 計(D+E+F)	782,382,988
(H) 収益分配金	△52,046,394
次期繰越損益金(G+H)	730,336,594
追加信託差損益金	393,309,982
(配当等相当額)	(295,486,585)
(売買損益相当額)	(97,823,397)
分配準備積立金	337,026,612

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2014年4月11日～2015年4月10日)は以下の通りです。

項目	第11期
	2014年4月11日～ 2015年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	24,741,988円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	94,256,804円
c. 信託約款に定める収益調整金	393,309,982円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	270,074,214円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	782,382,988円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	9,019円
g. 分配金	52,046,394円
h. 分配金(1万口当たり)	600円

< Aコース >

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	600円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

①運用報告書 (全体版) について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日 : 2014年12月1日 >

②デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日 : 2014年12月19日 >

<Bコース>

○1万口当たりの費用明細

(2014年4月11日～2015年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 381	% 1.836	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(202)	(0.971)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(157)	(0.757)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(22)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	9	0.044	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(9)	(0.044)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.014	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(3)	(0.014)	
(d) そ の 他 費 用	17	0.083	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(12)	(0.056)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(5)	(0.023)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	410	1.977	
期中の平均基準価額は、20,760円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2014年4月11日～2015年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 277,753	千円 835,300	千口 1,093,461	千円 3,649,200

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2014年4月11日～2015年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	7,727,058千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,437,584千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.62	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2014年4月11日～2015年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	%	うち利害関係人との取引状況 D	D/C	%
株式	百万円 2,302	百万円 —	—	百万円 5,425	百万円 39	0.7
為替直物取引	724	—	—	4,024	222	5.5

平均保有割合 86.4%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Bコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	4,894千円
うち利害関係人への支払額 (B)	55千円
(B) / (A)	1.1%

*売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	3,554,416	2,738,708	9,970,268

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	9,970,268	93.6
コール・ローン等、その他	679,100	6.4
投資信託財産総額	10,649,368	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（11,351,951千円）の投資信託財産総額（12,214,513千円）に対する比率は92.9%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=120.51円、1カナダドル=95.69円、1英ポンド=177.37円、1スイスフラン=123.38円、1スウェーデンクローナ=13.77円、1ユーロ=128.60円、1香港ドル=15.55円、1シンガポールドル=88.73円、1ウォン=0.1104円、1メキシコペソ=7.99円、1レアル=39.41円、1チリペソ=0.1956円。

< Bコース >

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年4月10日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	10,649,368,084
コール・ローン等	104,199,607
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	9,970,268,363
未収入金	574,900,000
未収利息	114
(B) 負債	534,940,872
未払収益分配金	368,277,969
未払解約金	68,132,988
未払信託報酬	98,356,411
その他未払費用	173,504
(C) 純資産総額(A-B)	10,114,427,212
元本	4,603,474,622
次期繰越損益金	5,510,952,590
(D) 受益権総口数	4,603,474,622口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,971円

(注) 期首元本額5,633百万円、期中追加設定元本額531百万円、期中一部解約元本額1,561百万円、計算口数当たり純資産額21,971円。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額88,364,161円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2014年4月11日～2015年4月10日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	50,024
受取利息	50,024
(B) 有価証券売買損益	1,845,576,465
売買益	2,094,748,945
売買損	△ 249,172,480
(C) 信託報酬等	△ 202,160,033
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,643,466,456
(E) 前期繰越損益金	599,462,537
(F) 追加信託差損益金	3,636,301,566
(配当等相当額)	(1,797,930,329)
(売買損益相当額)	(1,838,371,237)
(G) 計(D+E+F)	5,879,230,559
(H) 収益分配金	△ 368,277,969
次期繰越損益金(G+H)	5,510,952,590
追加信託差損益金	3,636,301,566
(配当等相当額)	(1,800,402,671)
(売買損益相当額)	(1,835,898,895)
分配準備積立金	1,874,651,024

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2014年4月11日～2015年4月10日) は以下の通りです。

項目	第11期
	2014年4月11日～ 2015年4月10日
a. 配当等収益 (経費控除後)	167,342,545円
b. 有価証券売買等損益 (経費控除後・繰越欠損金補填後)	1,476,123,911円
c. 信託約款に定める収益調整金	3,636,301,566円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	599,462,537円
e. 分配対象収益 (a + b + c + d)	5,879,230,559円
f. 分配対象収益 (1万口当たり)	12,771円
g. 分配金	368,277,969円
h. 分配金 (1万口当たり)	800円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	800円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2014年12月1日>

②デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2014年12月19日>

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日2015年4月10日）

作成対象期間（2014年4月11日～2015年4月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	MSCI	騰落率			
7期(2011年4月11日)	17,850	7.9	124.76	3.0	98.4	—	18,365
8期(2012年4月10日)	17,686	△ 0.9	117.23	△ 6.0	97.3	—	12,582
9期(2013年4月10日)	24,348	37.7	163.92	39.8	98.6	—	12,378
10期(2014年4月10日)	30,078	23.5	202.14	23.3	98.5	—	12,480
11期(2015年4月10日)	36,405	21.0	258.35	27.8	98.8	—	11,547

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 *MSCI ワールド インデックス フリーは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

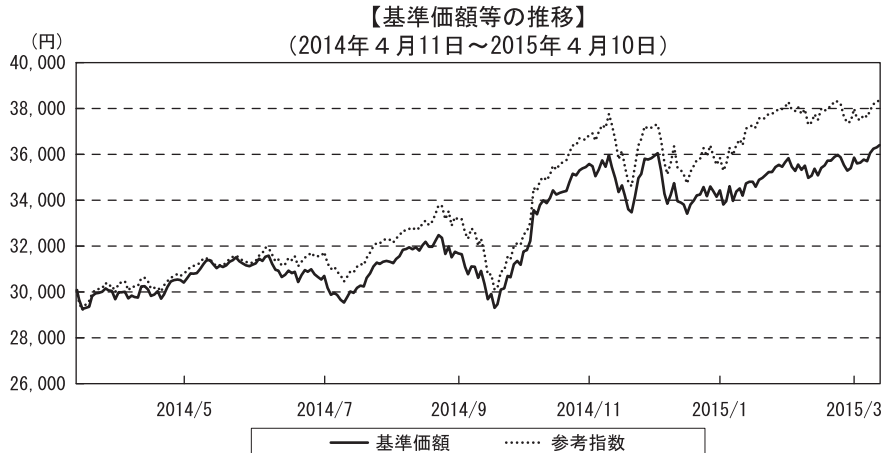
年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	MSCI	騰落率		
(期首) 2014年4月10日	30,078	—	202.14	—	98.5	—
4月末	29,976	△ 0.3	204.16	1.0	94.6	—
5月末	30,399	1.1	206.91	2.4	96.8	—
6月末	31,183	3.7	210.17	4.0	96.6	—
7月末	30,700	2.1	213.27	5.5	98.2	—
8月末	31,253	3.9	216.09	6.9	98.6	—
9月末	31,677	5.3	222.77	10.2	98.4	—
10月末	32,225	7.1	221.90	9.8	97.8	—
11月末	35,580	18.3	247.67	22.5	98.6	—
12月末	36,056	19.9	250.61	24.0	98.1	—
2015年1月末	34,422	14.4	240.90	19.2	98.0	—
2月末	35,463	17.9	255.20	26.2	97.5	—
3月末	35,855	19.2	255.30	26.3	97.8	—
(期末) 2015年4月10日	36,405	21.0	258.35	27.8	98.8	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

- ・ 2014年5月から6月にかけて、ECB（欧州中央銀行）が利下げを実施したことや、米国の雇用統計が堅調な内容であったこと、FOMC（米連邦公開市場委員会）後のイエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長の声明が緩和的な金融政策の継続を示唆したことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 9月は、中東情勢の緊迫化や中国景気の成長鈍化観測が強まったこと、ウクライナ情勢を巡りEU（欧州連合）がロシアに対し追加制裁を実施したことや、スコットランド独立を巡る住民投票の先行き不透明感などから、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 10月から11月にかけて、日銀の追加金融緩和策の実施、ECBによる追加金融緩和期待や米国の早期利上げ観測の後退に加え、中国が2012年7月以来の利下げを実施したことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 2015年2月から3月にかけて、原油価格の反発やギリシャ情勢の改善期待、欧米の早期利上げ懸念の後退などから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 為替については、2014年9月、米国債利回りの上昇や米国の早期利上げ観測の高まり、また、日銀総裁の発言をきっかけに市場で緩和期待が広がったことなどから、円がドルに対して売られたこと。10月末の日銀による金融緩和を受け、主要通貨に対して円が売られたこと。2015年1月、ECBによる金融緩和期待から対ユーロに対して円が買われたこと。

○投資環境

期中の世界株式市場は、中東情勢やウクライナ情勢の地政学的リスク及びECBをはじめとする中央銀行の金融政策に対する市場の期待に左右されましたが、期を通じて上昇となりました。

中東情勢やウクライナ情勢の緊迫化や、ギリシャ大統領選挙の前倒し決定により政情不安が高まったこと、原油価格の急落による産油国経済の混乱が強まったことなどが下落要因となりました。

米国の一部経済指標が予想以上に改善したことを受けて世界経済の見通しが改善したこと、FRBの金融緩和策が相当な期間維持されることが明らかになったことやECB・日銀による金融緩和が好感されたこと、原油価格の反発などが上昇要因となりました。

為替市場では、期を通じては、米ドル、英ポンド、香港ドルなどに対して円安となりましたが、ユーロに対しては円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針を元に当期間は以下のような運用を行いました。

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

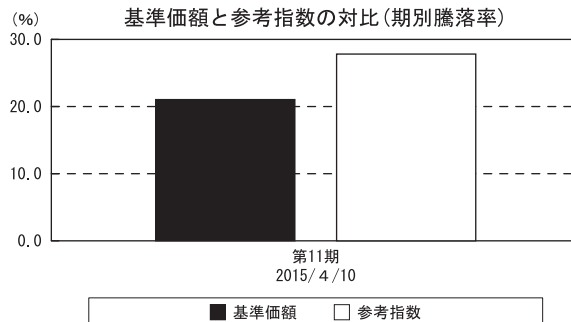
- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリング」と「上下水道ビジネス」を中心に投資してまいりました。
 - ②業績が景気の影響をより受けやすい「装置製造・エンジニアリング」については、バリュエーション面で割安感があり、財務体質のしっかりした企業に投資を行いました。好業績などを背景に株価が上昇し割安感の減少した銘柄やユーロ安による業績への影響が懸念される銘柄、石油・ガス関連の銘柄などを一部売却する一方、堅調な業績が見込まれる銘柄を購入しました。
 - ③世界的に景気回復期待が高まったものの、引き続きよりディフェンシブ（景気に左右されにくい）性の高い規制下の事業比率が高い「上下水道ビジネス」の組入比率を高位に保ちました。

- ④「環境マネジメント・サービス」については、バリュエーションの観点から割高な企業を売却する一方、中期的な業績動向が堅調な企業に注目し、投資を行いました。
- ⑤バリュエーション面で割安と判断した日本のアルミサッシ製造会社を新規に購入し、日本の株式の組入比率を高めました。また、効率性の改善で収益性向上が期待される米国の生命科学設備会社や今後業績の伸びが見込まれる米国の廃棄物管理会社などの株式の組入比率を高めました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の27.8%の上昇に対し、基準価額は21.0%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えた投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしております。



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

米国で年内にも利上げが開始されると見られることから金融引き締めの影響が懸念されるものの、こうした環境下でも水関連業界は都市化、民営化、サステナビリティ問題などの長期的な需要増加要因に支えられ、相対的に良好な業績動向が見込まれます。

特に各国の財政状況が厳しいなかでは水道事業などの民営化が進展し、上下水道サービス業界の企業の事業機会の拡大が見込まれます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行う水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年4月11日～2015年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 15 (15)	% 0.044 (0.044)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	5 (5)	0.014 (0.014)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	26 (19) (8)	0.080 (0.057) (0.023)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	46	0.138	
期中の平均基準価額は、32,899円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年4月11日～2015年4月10日)

株式

		買 付		売 付		
		株 数	金 額	株 数	金 額	
国内	上場	千株 187	千円 275,593	千株 166	千円 255,754	
外国	アメリカ	百株 4,313 (52)	千米ドル 12,191 (-)	百株 7,157 (-)	千米ドル 28,299 (11)	
	カナダ	- (251)	千カナダドル - (-)	412	千カナダドル 848	
	イギリス	1,919 (99)	千英ポンド 1,043 (78)	2,477	千英ポンド 2,408	
	スイス	7	千スイスフラン 97	89	千スイスフラン 1,702	
	スウェーデン	48	千スウェーデンクローナ 827	548	千スウェーデンクローナ 8,665	
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ	
		ドイツ	-	-	3	137
		イタリア	-	-	6,330	1,186
		フランス	289 (123)	405 (160)	1,195	1,715
		オランダ	76 (7)	179 (20)	248	631
		オーストリア	88	358	101	477
		香港	8,120	千香港ドル 4,066	26,490	千香港ドル 22,477
		シンガポール	-	千シンガポールドル -	2,203	千シンガポールドル 204
		韓国	16	千ウォン 138,609	135	千ウォン 1,170,800
		メキシコ	3,082	千メキシコペソ 8,937	464	千メキシコペソ 1,479
		ブラジル	2,435	千リアル 4,173	562	千リアル 790
	チリ	-	千チリペソ -	863	千チリペソ 30,772	

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2014年4月11日～2015年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	7,727,058千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,437,584千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.62

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2014年4月11日～2015年4月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D		D C
		百万円	百万円			百万円	百万円	
株式	2,302	—	—	%	5,425	39	0.7	%
為替直物取引	724	—	—	—	4,024	222	5.5	%

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	5,656千円
うち利害関係人への支払額 (B)	63千円
(B) / (A)	1.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年4月10日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
化学 (20.8%)				
積水化学工業	53		87	146,421
金属製品 (26.0%)				
L I X I Lグループ	—		36.1	100,033
リンナイ	16		9.5	83,315
機械 (37.3%)				
クボタ	81		88	174,416
荏原製作所	220		172	88,752
電気機器 (15.9%)				
堀場製作所	26		23.8	112,098
合 計	株 数 ・ 金 額	396	416	705,035
	銘柄 数 < 比 率 >	5	6	< 6.1% >

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

*—印は組み入れなし。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
AECOM	—	316	1,022	123,185	建設・土木	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	—	121	515	62,136	ライフサイエンス・ツール/サービス	
AMERICAN STATES WATER CO	196	122	480	57,935	水道	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	1,003	700	3,773	454,755	水道	
AQUA AMERICA INC	1,209	1,201	3,193	384,848	水道	
CALGON CARBON CO	401	295	628	75,692	化学	
CALIFORNIA WATER SERVICE GRP	437	593	1,434	172,817	水道	
CLARCOR INC	336	185	1,228	148,043	機械	
CLEAN HARBORS INC	353	274	1,542	185,902	商業サービス・用品	
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	3,744	2,320	1,353	163,053	水道	
COVANTA HOLDING CORP	—	417	914	110,224	商業サービス・用品	
DANAHER CORP	666	349	2,989	360,220	コングロマリット	
DONALDSON CO INC	871	551	2,066	248,989	機械	
ECOLAB INC	272	176	2,046	246,601	化学	
FLOWSERVE CORP	135	84	476	57,446	機械	
FRANKLIN ELECTRIC CO INC	345	244	952	114,818	電気設備	
IDEX CORP	259	181	1,382	166,548	機械	
MASCO CORP	—	269	708	85,340	建設関連製品	
MUELLER WATER PRODUCTS INC-A	666	1,110	1,104	133,099	機械	
PALL CORP	293	133	1,329	160,254	機械	
PARKER HANFIFIN CORP	130	75	900	108,510	機械	
PERKINELMER INC	—	192	985	118,791	ライフサイエンス・ツール/サービス	
PROGRESSIVE WASTES SOLUTIONS LTD	576	433	1,307	157,579	商業サービス・用品	
REPUBLIC SERVICES INC-CL A	336	244	995	119,911	商業サービス・用品	
REXNORD CORP	208	312	779	93,984	機械	
ROPER INDUSTRIES	160	100	1,712	206,423	コングロマリット	
SMITH (A. O.) CORP	328	326	2,116	255,010	建設関連製品	
TETRA TECH INC	671	387	938	113,060	商業サービス・用品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	235	172	2,305	277,890	ライフサイエンス・ツール/サービス	
TRIMBLE NAVIGATION LTD	—	197	502	60,564	電子装置・機器・部品	
VALMONT INDUSTRIES	104	36	437	52,750	機械	
WASTE CONNECTIONS INC	509	304	1,460	175,981	商業サービス・用品	
WASTE MANAGEMENT INC	159	89	491	59,182	商業サービス・用品	
XYLEM INC	1,292	842	2,945	354,964	機械	
PENTAIR PLC	—	211	1,320	159,181	機械	
PENTAIR LTD	463	—	—	—	機械	
小 計	株 数 ・ 金 額	16,370	13,578	48,342	5,825,704	
	銘柄 数 < 比 率 >	29	35	—	< 50.4% >	
(カナダ)			千カナダドル			
PURE TECHNOLOGIES LTD	918	641	532	50,935	電子装置・機器・部品	
STANTEC INC	305	421	1,294	123,876	専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,224	1,063	1,826	174,812	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 1.5% >	
(イギリス)			千英ポンド			
ROTORK PLC	229	161	416	73,868	機械	
PENNON GROUP PLC	3,764	2,700	2,257	400,461	水道	
SEVERN TRENT PLC	1,044	934	2,024	359,069	水道	
UNITED UTILITIES GROUP PLC	2,387	2,073	2,023	358,896	水道	

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
(イギリス) POLYPIPE GROUP PLC-WI	百株 —	百株 1,097	千英ポンド 292	千円 51,956	建設関連製品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,425 4	6,967 5	7,015 —	1,244,251 <10.8%>	
(スイス) SULZER AG-REG GEBERIT AG-REG	87 98	39 64	千スイスフラン 429 2,378	53,030 293,479	機械 建設関連製品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	185 2	103 2	2,808 —	346,510 <3.0%>	
(スウェーデン) ALFA LAVAL AB	654	154	千スウェーデンクローナ 2,641	36,377	機械	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	654 1	154 1	2,641 —	36,377 <0.3%>	
(ユーロ…ドイツ) KSB AG-VORZUG	9	6	千ユーロ 286	36,788	機械	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	9 1	6 1	286 —	36,788 <0.3%>	
(ユーロ…イタリア) HERA SPA ENEL GREEN POWER SPA	5,108 4,270	3,049 —	684 —	87,996 —	総合公益事業 独立系発電事業者・エネルギー販売業者	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	9,379 2	3,049 1	684 —	87,996 <0.8%>	
(ユーロ…フランス) VEOLIA ENVIRONNEMENT SUEZ ENVIRONNEMENT SA	2,294 2,497	1,916 2,092	3,563 3,473	458,218 446,681	総合公益事業 総合公益事業	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,791 2	4,009 2	7,036 —	904,899 <7.8%>	
(ユーロ…オランダ) ARCADIS NV AALBERTS INDUSTRIES NV	366 429	275 355	832 1,062	107,048 136,641	建設・土木 機械	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	795 2	631 2	1,894 —	243,690 <2.1%>	
(ユーロ…オーストリア) ANDRITZ AG	301	288	1,632	209,940	機械	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	301 1	288 1	1,632 —	209,940 <1.8%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	15,278 8	7,985 7	11,534 —	1,483,315 <12.8%>	
(香港) CHINA EVERBRIGHT INTL LTD GUANGDONG INVESTMENT BEIJING ENTERPRISES WATER GR SOUND GLOBAL LTD	12,910 31,948 37,168 12,573	9,820 19,588 36,668 10,153	千香港ドル 14,513 21,351 23,540 3,553	225,692 332,009 366,061 55,259	商業サービス・用品 水道 水道 水道	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	94,599 4	76,229 4	62,959 —	979,022 <8.5%>	
(シンガポール) HYFLUX LTD	5,657	3,454	千シンガポールドル 307	27,276	水道	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,657 1	3,454 1	307 —	27,276 <0.2%>	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	金額	
(韓国) COWAY CO LTD	百株 361	百株 242	千ウォン 2,359,432	千円 260,481	家庭用耐久財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	株数 1	評価額 -	金額 <2.3%>	
(メキシコ) GRUPO ROTOPLAS SA DE CV	-	2,618	千メキシコペソ 8,210	65,598	機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	株数 1	評価額 -	金額 <0.6%>	
(ブラジル) CIA SANEAMENTO MINAS GERAIS CIA ENERGETICA DE MINAS GER-PREF	562 -	700 1,735	千リアル 1,319 2,415	52,001 95,179	水道 電力
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	株数 1	評価額 2	金額 <1.3%>	
(チリ) AGUAS ANDINAS SA-A	17,123	16,260	千チリペソ 600,258	117,410	水道
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	株数 1	評価額 1	金額 <1.0%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	159,442 54	131,092 62	- -	10,707,942 <92.7%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 一印は組み入れなし。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2015年4月10日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 11,412,977	% 93.4
コール・ローン等、その他	801,536	6.6
投資信託財産総額	12,214,513	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産 (11,351,951千円) の投資信託財産総額 (12,214,513千円) に対する比率は92.9%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=120.51円、1カナダドル=95.69円、1英ポンド=177.37円、1スイスフラン=123.38円、1スウェーデンクローナ=13.77円、1ユーロ=128.60円、1香港ドル=15.55円、1シンガポールドル=88.73円、1ウォン=0.1104円、1メキシコペソ=7.99円、1リアル=39.41円、1チリペソ=0.1956円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年4月10日現在)

項 目	当 期 末 円
(A) 資産	12,724,094,938
コール・ローン等	747,308,005
株式(評価額)	11,412,977,743
未収入金	539,759,454
未収配当金	24,049,598
未収利息	138
(B) 負債	1,176,222,353
未払金	533,922,353
未払解約金	642,300,000
(C) 純資産総額(A-B)	11,547,872,585
元本	3,172,050,068
次期繰越損益金	8,375,822,517
(D) 受益権総口数	3,172,050,068口
1万口当たり基準価額(C/D)	36,405円

(注) 期首元本額4,149百万円、期中追加設定元本額311百万円、期中一部解約元本額1,288百万円、計算口数当たり純資産額36,405円。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Aコース 433百万円
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Bコース 2,738百万円

○損益の状況 (2014年4月11日～2015年4月10日)

項 目	当 期 円
(A) 配当等収益	253,145,626
受取配当金	253,035,033
受取利息	122,170
支払利息	△ 11,577
(B) 有価証券売買損益	2,183,531,858
売買益	3,098,087,201
売買損	△ 914,555,343
(C) 保管費用等	△ 10,236,544
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,426,440,940
(E) 前期繰越損益金	8,331,383,441
(F) 追加信託差損益金	629,896,434
(G) 解約差損益金	△3,011,898,298
(H) 計(D+E+F+G)	8,375,822,517
次期繰越損益金(H)	8,375,822,517

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2014年12月19日>